

- 1 教育事業名 「教員免許状更新講習」  
～自然体験活動から子供達の生きる力を～
- 2 ねらい 自然体験活動の意義を理解し、活動に伴う安全管理の意識を高めるとともに学校における体験活動の指導法の工夫改善に資するなど、教員の資質向上を図る。
- 3 期 日 平成27年8月12日（水）～14日（金） 2泊3日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 5 募集定員 50名
- 6 参加人数 42名
- 7 参加者内訳 幼稚園2名・小学校17名・中学校7名・高校14名・特別支援2名  
(男性26名 女性16名) (県内35名 県外7名)
- 8 講 師 川添貴司 氏 (沖縄県生涯学習振興課生涯学習推進センター社会教育主事)  
講義「学校教育の現状と課題」  
平野貴也 氏 (名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科教授)  
講義「体験活動の意義と学習指導要領」  
北見靖直 氏 (国立青少年教育振興機構 教育事業部指導主幹)  
講義「体験活動の安全確保と安全指導」  
講義・実習「体験学習の指導法」「体験活動とフィードバック」  
赤嶺智郎 氏 (国立沖縄青少年交流の家 主任企画指導専門職)  
実習「レクリエーションの基本と実技」  
実習「体験学習の指導法」

9 実施プログラム

		9:00	10:00	11:30	12:00	13:00	15:00	17:00	19:00	21:00
一 日 目		那覇市泊港 とまりん集合	フェリー とかしき	開 講 式	昼食	講義 「学校教育の現状と課題」	講義 「体験活動の意 義と学習指導 要領」	夕 食 等	実習「体験活動 の指導法①」 レクリエーション の基本と実技	
		8:30	9:00		12:00	13:00	15:00	15:30	19:00	
二 日 目	朝 食	移 動	実習「体験活動の指導法③」 ～マリン活動～		昼食	講義 「体験活動の指導法②」 体験活動の安全確保と 安全指導	実習「体験活動の指 導法③」 ～野外炊事～		清 掃 移 動	
		9:00	9:15		11:15	12:00	13:00	14:00	16:00	17:10
三 日 目	朝 食	清 掃	実習「体験活動の指導法④」 体験活動とフィードバック		グ ル ー プ 発 表 会	昼食	履修認定 試験	閉 講 式	フェリーとか しき	講義「体験活動の指導法②」 体験活動の安全確保と安全指導

## 10 事業の様子



～講義内容に熱心に聞き入る～



～ペアラジオ体操にチャレンジ～



～オープンカヤックでイエーイ～



～火お越し フゥーフゥーフゥー～

## 11 エピソード（参加者・保護者の声や観察より）

- ・ 生徒の立場も経験でき、教育者としての立場（どうすすめるかなど）も考えながら参加できた。
- ・ 免許更新のテストのためだけの講習ではなく、生徒に伝えたい、味わわせたい内容ばかりだったのでとても満足。
- ・ テーマである『体験』について理論と実践、両面からの講義だったので。
- ・ 体験活動に講義と、バランスが良かった。
- ・ 『ゆいまーる』の心を取り戻した気がする。
- ・ ハードスケジュールだが、始めから終わりの講義、体験すべて密度の濃い内容だった。
- ・ 他の学校、校種、県内外、年齢などふだんはお話する機会がない先生方と、色々な情報交換ができとても良かったです。講義はもちろんですが、それ以外でも勉強になることが多かった3日間でした。
- ・ 常に安全に穏やかに見守られている中で過ごすということが、どれほど体験者の心と身体を広げ、有意義な時間となるのか、身をもって体感させて頂けたこと、本当に感謝しております。豊かな人間性と責任感ある教師として成長したいと思います。

## 1 2 担当者所見

### 【成果】

講義、実習とも各講師が工夫を凝らし、楽しく充実した内容で行われた。渡嘉敷島の自然を生かした研修で、全国より集まった先生方の満足度の高い事業となった。研修の最終日に学習の成果として、学校で生徒に自然体験宿泊学習のオリエンテーションを行うという設定でグループごとに発表を行ってもらったが、どのグループも生き生きと、子供達への楽しさと安全への意識を高める内容ですばらしかった。これらの結果をふまえ、本事業のねらいである、「自然体験活動の意義を理解し、活動に伴う安全管理の意識を高めるとともに学校における体験活動の指導法の工夫改善に資するなど、教員の資質向上を図る」は十分達成できたと考える。

### 【課題】

- ・ 日程が新盆と重なってしまい、県外からは参加しにくい設定であった。次年度以降はお盆を外して日程を取りたい。